



ことぶき大学再開のはずでしたが…

第4波

緊急事態宣言発令中!

ことぶき大学生の皆さん、いかがお過ごしですか。

ただいま緊急事態宣言が発令されております。

全道的に感染拡大に歯止めがかからないようです。16日から31日までの期間、緊急事態宣言が発令しておりますが、さらに期間が延期することも検討されているようです。(6/20まで延長されました)

先週水曜日19日(水)から高齢者のワクチン接種が始まりましたが、接種された皆さんもいらっしゃることでしょう。体調はいかがですか。

テレビで接種の様子を見ていると、とても痛そうに感じます……私はとても不安です。

24日からは65歳から74歳までの方の案内文書が発送され、6月1日(火)から予約開始ということです。私はインターネットで申し込む予定です。

インフルエンザ予防接種を受けたことがない私ですが、この新型コロナワクチン接種は必ず受けたいと思っています。

このコロナ禍、ワクチン接種をはじめ、変異株やスーパースプレッダー、世界では自粛緩和の国があれば、感染拡大に歯止めがかからない国、また感染が収まれば紛争が始まったりといろいろな情報が飛び込んできます。

その中で、正しい情報や必要な情報を見極めどう選択していくのか、人間は常に選択をしながら生きていくともいえます。

だから毎日をより善く生きていくこと。難しいですが、それが選択能力を身に付けるための鍵となるのです。

さて、今後のことぶき大学についてお話をします。勿論、変更もあり得ますが……



わが家のサクラランボの木

令和3年5月21日

市民の皆様へ

新型コロナウイルス感染予防の徹底について

富良野市内でも、5月21日新型コロナウイルス感染症の患者が、新たに確認されています。また、北海道内の今日(5月21日)の新規感染者数は727人(過去最多)になっています。

◆外出の際は

・週末の不要不急の外出を控えましょう。

外出しても20時まで。

※通院や買物、出勤、運動など、生活や健康の維持のために必要な場合を除き、外出を控えてください。必要な外出や移動でも、混雑する場所や時間を避けて行動してください。

・道内の「特定措置区域※」や緊急事態措置区域との不要不急の往来は控えましょう。

※札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、当別町、新篠津村、小樽市、旭川市

◆飲食の際は

・休業や営業時間短縮、酒類提供時間短縮の要請に応じていない店舗等の利用は控えましょう。

・「黙食」を実践する。

(食事は4人以内など少人数、短時間で、深酒せず、大声を出さず、会話の時はマスク着用)

緊急事態措置期間

5/16日~5/31月

不確かな情報に惑わされ、差別やいじめなど人権侵害につながるような行動をとることのないよう、理解を深め、冷静に思いやりのある行動をお願いします。

富良野市新型コロナウイルス対策本部 電話 39-2300(市役所総務課)

今後の予定とお知らせ

9月から再開

クラブ学習は10月再開(予定)

ワクチン接種終了予定が8月中旬です。接種後の体調も考慮しなくてはなりませんし、個人差や年齢差などもあるようです。

これからは、ワクチン接種と変異株の動きや変化で私たちの生活が左右されると思います。

次のようにな日程で9月からの再開を予定しています。



わが家のムスカリ細

9月 1日(水) 登校日(各校) …学習計画全般について(クラブ・同好会)

9月15日(水) 入学式(各校)

9月29日(水) 学習日

10月 6日(水) 第1回クラブ学習日、コーラス・踊り

大切なことは感染を防止すること。感染を拡大させないこと。大切な命を守ることです。

- ◎ 当面、クラブ学習以外、合同学習は自粛します。
- ◎ 令和2年度卒業式並びに修了式は、各校での授与となります。日程など詳細につきましては、後日各校ごと連絡をします。どうかご理解ください。
- ◎ 一日日程、昼食等につきましては、今後の状況を見ながら判断したいと思います。

只今、ことぶき大学の教材研究中です

私の手元に1枚の手作りDVDがあります。ここには私のお気に入りの映画音楽が入っています。映画音楽だけでなく映像が一部入っています。

このコロナ禍で現在、富良野校、山部校とも学習の年間計画を再編成中ですが、山部校の学習計画の一コマに是非入れて下さい。熊倉さん、どうですか…



今回は、映画音楽から映画を選んでみました。「シェルブールの雨傘」はご存じですか。カトリーヌ・ドヌーブ主演でミュージカルです。セリフ一言一言がミュージカルですが主題曲は大変有名です。「ローマの休日」の主題曲はというと何でしょうか。これはオードリー・ヘップバーンが最高にいいので音楽は二の次? 「禁じられた遊び」も映画よりも曲(内容が悲しい…) イエペスのギター演奏は私の憧れでした。「ひまわり」はソフィア・ローレンの涙が印象的。ヘンリーマンシーニの主題曲はジャズでも…いい音楽です…「卒業」「エデンの東」「いそしぎ」「めぐり逢い」「風と共に去りぬ」「マディソン郡の橋」「ニューシネマパラダイス」「太陽がいつ

ばい」「愛の讃歌」「男と女」「旅情」「道」「我が道を往く」「道…ジェルソミーナ…」などもそれぞれ思い出多いです。「ある愛の詩」「追憶」「ボディガード」などは新しい方ですが、その時期には曲の方が大ヒットしました。

妻と二人で今のところ33曲を選んでこの教材を作りました。

勿論、偏った選曲（選定）ですが、ことぶき大学が再開したら、ちょっとつまむものを用意して最高の映画音楽を楽しみましょう……この作品から皆さんに“ベスト3”を選んでいただき、後日上映会を開きたいと思います。皆さんどうですか。

「星と音楽のひととき」……そんな授業も考えています。皆さんと一緒に少し大きめの星座早見盤を手作りします。星の位置を知るために使いますが、その利用方法も学びます。それから星座や星雲、私の大好きなオリオン座の星雲を紹介するとともに、星座からギリシャ神話を映像を通して学びます。いかがですか…無限の宇宙の旅ができます。

$$1 \div 0 = ?$$
$$0 \div 0 = ?$$

古典では人形浄瑠璃で「近松心中」、歌舞伎ではスーパー歌舞伎、宮崎駿の作品の歌舞伎も用意しました…算数?では「微分と積分」について、理科では相対性理論を、そして大学の先生を迎えての講座も用意しています。1回目予定の「経済学」ですが、8月予定でしたので、日程の変更も検討しています。2回目「子どもの貧困」について学ぶ予定です。「ヤングケアラ」皆さんご存じとは思いますが、親の介護をする子どもたちです。小学生一人で学校も通えない子どもたち…そんな実情を含め、子どもの貧困について考えてみます。

また、今回は先生がお忙しくて日程が合いませんでしたが「ジェンダー論」です。これは社会的意味合いからみた男女の性の区別の問題など…時代の流れで考えてみたいと思っていました…

いろんなことをこのことぶき大学で、そして皆さんと一緒に学びたいと思い、準備しています。楽しみにしててください……

黒板五郎こと 田中邦衛を偲んで



3月24日、田中邦衛が亡くなりました。連休や週末など天候が悪い中、麓郷へ訪問（記帳・献花）される方がコロナ禍にも関わらず大変多かったようです。今は少し減ったでしょうか。

1981年10月からテレビ放映された「北の国から」…今から40年前にもなるのですね。

1981年（昭和56年）、私は3度目の挑戦で教員採用となり初任地である猿払村の知来別中学校1年目の年でした。最終回が次の年の3月ですが、テレビでその当時「北の国から」を観た記憶がありません。

それでも、旧プリンスホテルに行くと、丁度蛭がキタキツネの餌付けの場面の撮影時だったり、五郎が丸太をノコギリで切っているシーンも麓郷のログハウスの窓越で観ていたことがあります。

まあそれはそれとして、妻と40年振りに「北の国から」をこの連休に観ました。



「北の国から」のテーマソングが流れると胸がジーンと熱くなります。

それが「倉本聰脚本の“北の国から”」なのか、それよりも「今靖直脚本・制作・主演の”ことぶき村の大きなカブの物語”か、“還付金詐欺と認知症老人”か、“カムバック”」なのか、いろいろな思いが交差しつつ、40年振りに観た「北の国から」は考え深いものがありました。

もし、私が「純だったら…」と思いながら自分の小さかった頃などいろいろ思い出したりもしました。「電気がない！水道がない！テレビも電話がない！…アチャ！！」純君の声が聞こえてきます…とても不便で面倒で苦勞の連続、そんな生活の中でこそ、本当の生きる力、生き抜く知恵というものが育つこと…その大切さを体験させたいという父、五郎の“親として”の切実な願いがあったのでしょうか…

私の義理の両親も「北の国から」を観て、富良野が見える麓郷にログハウスを建てました。シリーズで「89'帰郷」でその建築中のログが映っていたのには大変驚きました。撮影されたのはいつでしょうか、まだ私たちの家もないこの集落であるトムソンウッディヴィレッジの原風景に感動しました。



今でも、麓郷を訪れる人がたくさんいるようです。先日、田中邦衛が亡くなったとの報道があった2、3日後だったのでしょうか。富山から若い女性が一人で初心者マークつきのレンタカーで私の家に来ました。飛行機で急遽、日帰りの予定で来たというのです。

「ここは北の国からの撮影場所ですよ」と……ファンで凄いですね。

1981年から2002年までの作品、久しぶりにドラマ「北の国から」そして脚本家「倉本聰」をすごく身近に感じることができました。

田中邦衛といえば、山田洋次監督の「学校」や「息子」という作品も思い出します。

どちらの作品も私の大好きな映画です。真面目に直向きに生きている姿に本当の笑いがあり、悲しさがあり美しさがあり喜びがある。真の感動はその真面目さにあるのではないのでしょうか。田中邦衛を偲んで何か共通した作品に触れてみたいと思っています。

……田村正和も亡くなりました。妻は20代から大ファンだったので、大ショックを受けています……そのことは別な機会に……

このコロナ禍、「死」ということ「生きる」ということと同時に「明日のために今日を精一杯生きる」ことの大切さを実感している今日この頃です。

これからまた「お元気ですか？メッセージ」を郵送します…お楽しみに…

お近くにいらしたときは是非、お立ち寄りください。また…